



豊後大野市教育委員会

会 議 要 録

議 題：第 8 回豊後大野市図書館及び資料館建設検討委員会

日 時：平成 29 年 3 月 6 日（月）18：03～20：01

場 所：豊後大野市中央公民館視聴覚室

欠席者：田原靖憲副委員長、佐藤珠幸委員、衛藤孝典委員

1. 開会 18：03～

事務局（広瀬）

2. 協議事項

委員長	<p>会を始める前に説明を。図書館は図書館、資料館は資料館であるが、今回はシャッフルになっている（”同時並行に検討している”という意）ので、なかなかご理解いただけてないから、そこをおさえる意味で説明させていただきたい。</p> <p>（資料）文科省のデータだが、公民館は減少傾向、図書館は増加傾向にある。博物館は横ばい状況。博物館、資料館、全ては博物館の仲間である。物を展示し、普及する、それは博物館。ただ、博物館数は文科省がおさえている数字であり、法（博物館法）により定められているもの（以下、登録施設）、あとは類似施設。緒方町にある歴史民俗資料館は類似施設である。類似施設は 7,000 くらいある。違いは、登録施設は例えば学芸員を置きなさいとなる。その中に私立も含むのでちょっと厄介。私立は 200～300 ある。ほとんどが公立。そういう中で今の論議がある。また、もっと複雑にしているのは、時代ごとに博物館を求める世界が変わってきている。そこで伊藤寿朗という人が、「市民の博物館」という（書籍の）中で、第一世代、第二世代、第三世代と区分し、1990 年代に提言した。今この考えに基づく博物館が、にわかに脚光を浴びて進行している。というのは、博物館を見世物小屋、ただ宝物があるくらいにしか思っていないという時代があった。それから鶴田という人が第二世代のところで、収集、整理保管、研究、教育普及を打ち出して、こういうものが博物館だと、そういう考えが 1990 年代、いや今もそうかもしれないが、主流の姿でした。それから市民参加、市民とともにというのがにわかに脚光を浴びてきて、それが第三世代の博物館。そういう姿が今注目をされている。平成 24 年に学芸員の資格（取得）課程が解</p>
-----	---

	<p>除されて、このような考えに基づいて、博物館教育論というものが登場してくる。見世物小屋で見せるだけでなく、そこで教育普及をして史料をもっと広げなさいという発想に基づいて。そういう動きが全国で展開されている。(みなさんが)それぞれお持ちの考えが、第一世代型だとか第三世代型だとかになり、議論がなかなか見えないというのが私の印象。整理するためにこれを提示した。今後豊後大野市の資料館を、2、3年後新しくできるとすれば未来希求型というか、そういうものに(到達して)いくのが自然の流れかなと考えているところ。そうするとその中で、どのような資料館像が求められるのかという点で考えていかないと、それぞれみなさんが持っている博物館イメージが、違うところにあればなかなか前に進まない。ということでこういうものを用意した。また、中央志向型、観光志向型、地域志向型に区分して、中央志向型っていうのは国立や県立をイメージしている。観光志向型は観光地にあるものをイメージして、住民は置き去りというか、語弊があるかもしれないが、稲積水中鍾乳洞、これを博物館とすればそれは観光型になる。観光地を誘致するという観点では一つの方法かもしれないが、では稲積の鍾乳洞の石などをそこ(博物館)に集めてするというわけにはいかない。観光型にも限界がある。今までのみなさんの意見を聞くと、地域志向型で住民のみなさんの郷土に対する思いを深めたりだとか、地域理解のための教育の場だという位置づけだと私は認識している。皆さんに意見を聞いても異論はないと思う。それと、地域志向型であっても丹念にやっていると逆に観光客が押し寄せてくるかもしれない。切り口の鋭いところ、テーマ性の追求次第では十分観光する方に対応しうる施設になる。それが日本の場合、やや曖昧だった。にぎわうところとそうでないところの差ができて、成長しないところがでてきた。</p> <p>観光型も一時は利用されて、流行みたいなものがあって、それが消えていくと閑古鳥が鳴く。私が関わっている九度山町の真田幸村ミュージアム、昨年は30万人入ったが今年はほとんど(来館者が)いない。10年、20年たつてどのようなゴールを目指すか。今回の議論であるので、そこは冷静に考える。私が勧めるのは地域志向型で、斜里町のようにきっちり研究し、観光客の深い理解につながる。それがユネスコの世界遺産の登録にもつながったと思うし、ナショナルトラストにもつながった。</p> <p>前回かなりの部分で進んだので、大筋は御理解いただいたと思う。では、2-2 現状と課題について事務局より。</p>
事務局(小野)	<p>2. 報告事項</p> <p>●新豊後大野市図書館及び資料館基本構想について</p> <p>(1) 前回までの協議について(確認)</p> <p>新サービス計画について、図にしました。小学校・中学校については学校主事の配置に伴う支援をします。あと、公民館図書室に対する支援。</p>

	相互貸借サービスの強化。また学社統合型に向けた学校との連携について示唆しています。変更点も含め確認させていただきましたが意見があればお願いします。
上野委員	学校長の意見では、中学校図書館の開放は、現状では厳しい。学校図書館（室）の充実に努めることが先決。セキュリティ確保必要。
委員長	将来的にという意味である。含みを持たせている。何年か後に出ても唐突ということになる。10、20年見据えている。人員とか施設とかすぐミクロの話になる。将来の大きな目標として、財政がひっ迫すると全部に司書を置けなくなる可能性がある。全国的に2、3（自治体）の動きがある。世界の情勢はその方向。クローズの状態でなく。校長先生の心配もあるので一挙にするのではなくステップバイステップで。
後藤綾子委員	このサービス網計画の図は今のサービスと変わっていない。電子化したりしないのか。また「個々のニーズに対応できる」などをいれた方が良いのでは。
委員長	構想の中に、例えばアウトリーチ活動が新たにある。これを忠実にやれば個々のサービスを行わなければならない。
後藤綾子委員	現状と変わらないのでは。
委員長	基本的にはこんな絵になる。コンセンサスを得られていないので絵にかいては（いけないのでは）。（そのために）文言としては含まれている。有機的使えるかどうかは個々の対応。サービス計画としては学校も取り込んでいるし、保育園等も取り込んでいる。あとはどう利用するか。例えば任務とか目標とかはある。全域サービスを考えた時に、三重町で達成していたとしても犬飼ではどうか、全市的に見た時にどうか、全市的にサービスを行う時に。
事務局（小野）	3. 協議事項 ●新豊後大野市図書館及び資料館基本構想について（資料館編）（1） 2-2 現状と課題 （資料にて説明）
委員長	いかがか。ジオパークの関係者の数は。
事務局（高野）	全てのカウント。資料館に来た人数ではありません。講座に来た人も含まれるので純粋に歴史民俗資料館に来た人ではありません。
工藤委員	資料館図書室（の利用者数）も入っているのか。
事務局（高野）	入っていません。
後藤綾子委員	司書は資料館の業務もするのか。
事務局（高野）	資料館職員が外出することが多いのでその際の留守番や調査相談業務を行っています。資料館職員が不在の際の連絡調整全般ということです。
委員長	（文化財行政の主な）3つの仕事（①資料館運営業務、②文化財保護行政、③埋蔵文化財業務）を行っている。私に関わっているところは、別々。

	緒方でやっているのは全て行っている。資料館と図書室機能は分けて考えた方がいい。ただ言葉の限界性があるって、歴史民俗資料館とすると自然関係の部分は入ってこられない。岸和田市の場合、岸和田自然史資料館としている。今後はネーミングを含めどういった仕事をするのか求められると思う。では次の議題を。事務局。
事務局(小野)	(2) 3-2 <u>コンセプト</u> (資料にて説明)
吉岡委員	ジオパークについては記載があるが、エコパークについてはない。意図的に外しているのか。また、市が有している“宝物”を市民にとって誇りの持てるものと感じていただければ、豊後大野市に愛着を持って定住者が増えるとか、また戻ってくるということも考えられる。非常にいい。
後藤順子委員	普段ケーブルテレビにおいて、ジオパークのことで文化財係の人をよく見かける。ジオパークのガイドさんが集まっているが、どこに集まって養成しているのか。
事務局(高野)	ガイド養成講座は歴史民俗資料館で行っています。(特定の)ガイドの拠点はありません。誰でも来てよい空間を作っています。観光や植物などの先生を招聘して講座を行っています。歴史民俗資料館でも来て良いですという空間作っているのですが、三重の人が多いせいか、ジオガイドが集まるのに緒方は遠いという意見があります。最近市役所の会議室で頻繁に行っています。
委員長	整理すると小さな器に(色々な事業を)詰め込みすぎている。建物と役割を分担し、ネーミングを差別化して第三世代型で行う。市民が研究し参加できる。知床博物館の例もある。私はそう考えると将来的には資料館で収まらず博物館になるのではないかと思う。今の構想は内容的には博物館に近い検討をここで行っている。博物館も資料館も同じ仲間。将来的にはそういうことで。ほかには。では、先ほどの「宝の」に「愛着を深め」等の文言を加えるということ。歴史民俗資料館の起こりはもともと農業機械が発達した時期に民具、農耕具などが廃棄されることを危惧し、それを保管するために文化庁が整備したものである。それを踏まえて今後活かす方向に行きつつある。エコパークもジオパークの仲間である。
事務局(真部課長)	エコパークを入れていないのは、意図的ではありません。具体的に認定作業が進んでいる段階ですので、こういった形で取り入れていくのか具体的にできていないので、記載されていないところです。今の時点ではジオパークという言葉のみが発せられています。御理解いただきたいです。
杉浦委員	(真部課長の言った)まさにその通りで、当初あまり考えずにここ(資料館)に詰め込みたいと考えていた。(建設)場所を含め現実が分かってくると「限界があること」が分かってきた。もう一つ、箱モノを入れ

	<p>る時に自然というエコも入ってくる。「大地と人と歴史文化館」というイメージで将来的には入れることもできるが、まずはジオを入れて成長していくという考え方。私は分散型というのもあっていいような気がする。まずは実績のあるジオから。今の時点でジオもエコもというのは、どうみても入らない。「大地と地質」というところを柔らかく入れて、成長していく中で市民参画、職員ではなくジオガイドが学校に行く、ジオガイドが資料館で説明、案内するという。まさにそれが市民参画。(委員長として) ジオは準備しているがまだ追いついていないところ。</p>
後藤順子委員	<p>ケーブルでジオガイドさんたちの活動を見ているが、(文化財の)職員も大変なので、本拠地を資料館において、説明はガイドさんたちが説明したら職員も楽なのではないか。</p>
委員長	<p>資料館は歴史や自然となるが、博物館は全部含まれる。自然保護地域も原尻の滝も博物館になる。テーマを追求するのがいい。例えば「大野川流域」。自然も文化もすべて入る。自然とともにこの地域に刻まれた歴史も包含される。今後は館のテーマとして目指せば、自然も文化も、それを探求する組織も展開される。今はまだ小さいエコパークも取り入れられる。今はない植物だって含まれる。ちなみに、先進地事例は平塚博物館。相模湾の自然と文化について、条例で謳われている。画期的である。大野川となれば奥嶽川などの支流も含まれる。基本の姿は提示しないといけないが、エコもジオも包含できる。いかがか。付け加えがあれば終わりにでも。では次に。</p>
事務局(小野)	<p>(3) 4-2 サービス計画 (資料にて説明)</p>
委員長	<p>資料館を併設で作ると㎡数に限界がある。それで既存の建物を活用するというので現図書館を利用するのが得策だと考える。そうすると、先ほど言った資料館の4つの仕事をきれいに分けて、資料館部門と文化財センターとする。教育委員会に学校の指導主事が入っていると思う。文化財センターは行政、資料館は現場と考えれば。今まで曖昧だったが今以上にスッキリする。現図書館は歴史民俗資料館と同程度の広さである。現在の歴史民俗資料館は、人はいなくても収蔵庫として使える。小学校の廃校も収蔵庫として。システムとしてコントロールできれば大きな資料館として考えることができる。この件に関してはどうか。</p>
吉岡委員	<p>サービス計画の中に、商工観光課との連携を入れるべき。地域志向型というか、外来の方にジオガイドを養成して案内しようという取り組み。外から来る人を抜きにして考えられない。またもう一つ、ジオガイド自体をもっと活用して、ジオガイドとともに資料館を育てる観点が必要。せっかく養成しているのに、実際活動している人は少ない。(ツーリズム豊後大野が企画・実施している)豊旅ということで活動しているが全体としてはまだまだ。「ジオガイドとともに博物館を育てていく」とい</p>

	う観点が必要では。
委員長	ごもっともである。富山県の舟橋村というところに図書館の中に観光課のセクションがある。図書館サイドが招き入れコーディネーター役をする。今後の運用で対応可能。図書館もまちづくりという発想の司書が必要。
後藤順子委員	資料館や図書館をできるだけ使うという観点でこの会に参加したが、豊後大野の観光が今バラバラな気がする。ジオはジオである、一方で内山観音がある。日本に誇るようなものもある。そういうものがあるのにみんなバラバラ。商工観光課に行っても、(観光分野が)里の駅(里の旅公社)に行ってしまった。もうみんなバラバラで。
委員長	ちょっと観光協会の話で、博物館とちょっと逸れるが、後藤委員の「観光協会が三重からなくなった。」という発言に対しては、将来、まるごと博物館構想をすればまとまってくる。山形県の朝日町の例。観光協会以上に博物館が情報を持っている。観光客もそこにくる。連携上の問題で、観光協会も博物館と連携していく。今後博物館もそういった連携で。ジオパークも。
渡邊円世委員	ジオ推進に係る業務イメージとしては、専用展示室が必要ではないか。
事務局(高野)	来館者に「ここ(豊後大野)はどういうところ」と聞かれた時に、「こんなところ」と説明、紹介できるようなもの(システム)がほしいです。また、豊後大野市周辺の隣接地の観光情報を提供できるような、そういう施設にならないと、ジオパーク(の再認定)としてはだめだと思っています。
委員長	滋賀県にある宿場町の連携協議会は地図を作成している。ジオパークそのものは(資料館に)持ってこられないので、関連資料の配付ができるようにした方がいい。また展示設計の段階で議論をしてほしい。
渡邊円世委員	ジオパークの再認定で今回指摘されているのは常設の展示スペースがないという点か。
事務局(高野)	指摘は、審査会より「来館者がエリアの中を見て歩く際によりどころとなる場所がありますか」という点で、残念ながら当時は博物館のような視点は無かったのですが、ジオパークをするようになりわかってきました。最初に審査委員が、(現在の歴史民俗資料館の)展示を見た時には、地球科学、自然科学がなく厳しいと言われました。(審査委員より)「再認定の際に、この4年間でちゃんとするのですか」と問われた際に「やります」と回答しています。ただもう、来年の11月ですので、(新資料館は審査に)間に合わないので、4年間収集した写真、鉱物、鉱石を展示する空間を広げ、今よりはまともにし、「成長する図書館、資料館建設を検討しています」と言おうと思います。
委員長	空間に限界性がある。豊後大野市資料館ならすべてを包含できる。いずればエコパークにもつながってくる。実現は可能だと思っている。

藤内委員	(私が)勘違いしていたのか、常設展示をしないということだったのでは。
委員長	前回の最後に常設展示コーナーを設けようとの意見があった。常設展示にも色々ある。
藤内委員	お金がないから、企画展示室だけでも良いという意見だったのでは。
委員長	1カ所に(資料を)全部集めなくても企画展示で持ってくれば可能。収蔵庫もそんなにいらぬ。パソコン等でどこに何があるかが管理できれば。広さは別にして、(常設展示の)空間は可能。滋賀県が多賀町は、人口1万人できっちりした活動をしている。水先案内の役割をする常設展示は、コンパクトなものでもいい。予算の許される範囲で。今後の話となるが。あとは共有の部分兼ねる。
吉岡委員	ジオパークについて誤解があるかも。豊後大野のジオパークは自然や地質だけではない。阿蘇の大噴火で文化が宿って、磨崖仏ができ、石橋ができています。歴史や文化もひっくるめて(ジオパークである)。豊後大野の大半がジオパークでできているので、資料館も半分以上のテーマがジオパークとなると思われる。エコパークも地質に生物多様性が発生してきてできたもの。みんな共通している。博物館の一部にジオパークをくっつけるというものではない。
委員長	相模原の博物館は石ころを展示している。この石ころがどこからやってきたのか、そしてどういう文化に繋がっているのか。自然文化と言ってもつながりがあるから学際的な視点でどうアプローチするかということが求められる。歴史民俗資料館とすると限定される。だから市資料館とすると理解が得られる。展示は、展示基本構想、展示設計と流れる。あとは、建物の基本設計となる。今は総論の話をしている。では続きを
事務局(小野)	(4) 5-2 規模・レイアウト (資料にて説明)
委員長	面積については、今の収蔵スペース(現歴史民俗資料館、旧大恩寺小学校など)を収蔵庫として考えると、現在の図書館が埋蔵文化財センターとなれば、緒方(にある現在の)歴史民俗資料館は無人スペースとなる。共用スペースは、生涯学習のため講座を開いたりする場であるので、図書館とかぶることはあまりない。あとは常設展示。準備するための場所も必要。今のものプラスアルファ。今の歴史民俗資料館が700㎡。共用分を除いて400~500㎡あれば足り、かなりのスペースになる。資料館の建設コストと図書館の建設コスト、かなり違って、(資料館の)建設コストが高い。図書館の場合あたり前に資料等を入れるのみ。一方、資料館は空調、防虫管理、その他付帯的なコストがいる。狭いけど費用はかかる。今のイメージで(次回)再度提案するという事で良いか。そこそこのレベルで滋賀県(多賀町、能登川町)が日本で一番進んでいる。図書館や資料館に優秀な学芸員がいる。そういうところを参考にし

	ながら必要面積をカウントして次回提案でいいか。
一同	(了承)
吉岡委員	立地について、この場所(旧公民館跡地)の面積を考えたらスペース的に限界がある。今の歴史民俗資料館を倉庫にしても(資料館として全体をカバーするとしたら)狭い。旧緒方工業高校跡地は、グラウンドだけでも面積が大きい。国道からのアプローチも可能。原尻の滝からも近いので立地的には十分良い。旧緒方工業高校跡地の活用を(資料館の)候補として検討することは可能と思う。
委員長	ランチ型で可能と思う。宮崎県の木城町は、NPOが図書館博物館を作り、年間2万人来場している。20年間で6千万の収益を上げている。遠かろうと近かろうと問題はクリアする。まちじゅうミュージアムには朝倉文夫記念館などのランチ、コーディネートする力が必要。アンケートの結果がどうなるかわからないが、市民の皆さんに資料館、図書館が見えていない。立派な活動をするとすればそれこそ成長する博物館となる。今のところで限界を考えれば、市役所に駐車場は沢山あるのでメリットとなる。市役所の業務と、図書館資料館の業務は日では重ならない。利便性を考えれば、三重総合高校もあるし、市役所もある。ここに拠点を置くのは妥当である。あとは原尻の滝付近の空いている施設にジオパークの宣伝施設を置くとか。それを全体的にどう考えていくということはまちじゅうミュージアム。市民のコンセンサスを得られやすい。構想図を書くと理解を得られやすい(南阿蘇村の例)。ただ全部を納得してやるのは難しい。
19:30	協議案件はここで終了(委員長から委員に意見を求めた)
委員長	滋賀県の大津市は、埋蔵文化財センターを別棟にして、図書館と資料館は一緒に、渡り廊下で行く。行政機関と教育機関を別にしている。滋賀県の博物館は、年間かなりの数で企画展をしていて、埋蔵文化財の職員が兼務ということはある、それだけ忙しい。平塚博物館は、市民参加型である。仮に同意が得られれば、埋蔵文化財センターに緒方の調査部門、遺物、民俗資料を置く。 ただ木製品と金属製品では管理の方法が異なるのでそれをどうするか。今の資源を活かす。三重に来た人が緒方や清川の情報を得られ、逆に緒方に来た方が、図書館に二次資料を見に行くとか。今後は連携が大切。またジオパークの、ありとあらゆる資料を取りそろえるということが重要。ただ、ジオパークばかりになると、逆に限定されるが。
事務局(高野)	博物館がジオパークを含むので、色んなものを含んでいます。
委員長	博物館は様々なものを包含する。グレードがあがれば博物館。農機具が捨てられていることから、歴史民俗資料館を作って、教育施設と言うより「とにかく集めましょう」ということになった。今後も広がりがあるという気持ちを込めてご了解いただきたい。今回は大急ぎでやってきたよ

	<p>うだが、こういう話（基本構想）は和歌山の図書館協議会では、業者に委託した。基本構想案を業者が作った後、自分が2回講演をした。短期間で集まって協議したが、複数回御足労賜ったので、それ（和歌山）に比べると、豊後大野市はかなりの意見をいただいた。伊賀上でもひな形を作ってそれを了承していくスタイル。</p> <p>実施計画に行く途中でも議論できる。展示シナリオの中で、どの部分が不足しているという議論ができる。自然系だけでなく歴史民俗系も。今の段階では雲をつかむような感じであるが、土地、広さが決まり、シチュエーションが見えてくればもっと精密なものが見えてくる。どれくらい練ったものを提案できるか。どこかがコントロールし、コーディネートする必要がある。連携が必要である。そうしないと観光協会となってしまう。課題解決型、まちづくりにウエイトを重ねた図書館。ほかの事例も少ないかもしれないがそういう状況に来ている。</p>
杉浦委員	<p>3つの確認と1つの意見を</p> <p>① 理想は博物館。無難なのは資料館。それは事務局任せ。キーワードとして出てきた「大野川流域」を活かしてほしい。</p> <p>② ジオパークを広義の意味で考えれば、地質、石橋、磨崖仏、祖母山信仰、神楽と。そうすると常設展示があった方がいい。プラス、市民の意見を聞いた企画展示をできそうな感じがした。</p> <p>③ 歴史民俗資料館は倉庫としても使える。将来的にはランチとして、サテライト型ミュージアムとして考えてもいいのかなあと。</p> <p>P21のコンセプトで、「むかし、いま、未来」、歴史という軸にプラス「大野川流域」でイメージがわく。P8は、今もそれなりに提供しているサービスの内容。図書館像として「地域の人と智がつながる」とあった。「成長する」と。「地域の人と智がつながり、成長する拠点」。ランチとつながり、ランチも成長するという。つながるだけでなく成長する、そうした方がすっきりする。</p>
委員長	<p>③は、ランチ、広がっていくかもしれないが、含みをもたすだけである。今後市民が自発的に行うかもしれないが、どれをどのようにランチとして認定するか。具体的なものは今から、予算、制度もあるので。</p> <p>①は、「大野川の自然と文化」を館のイメージとしていいか。</p>
渡邊円世委員	<p>博物館はいいと思う。博物館の前に、歴史博物館、自然博物館とかとしないと、歴史が入るか、自然が入るかという点でピンとこない。「歴史自然博物館」がいいのでは。その下に「大野川」というサブテーマというイメージだった。</p>
委員長	<p>これは文科省の区分でいうと、総合博物館、歴史博物館、美術博物館、自然史博物館、動物園である。自然も歴史も何もなければ、博物館でもなければ、「豊後大野市資料館」がそれにかわるものではないかと思う。ちなみに歴史系でスタートしたら歴史博物館が多い。もともと博物館は</p>

	宝物庫（文化財の仏像などを保管しているところ）からスタートしているから、歴史系が多い。今の状況でいくと全ての自然や歴史を包含したものに総合博物館を目指すべきと伊藤寿朗氏は言っている。
渡邊円世委員	近隣の博物館について、竹田、佐伯、臼杵が最近新しく作ったり、新しくなったりしている。豊後大野以外は殿さまの歴史が中心でおもしろくない。一方県南にある前方後円墳 12 のうち、8 つが豊後大野市内にある（臼杵 2 つ、竹田に 2 つ、佐伯 0）。このことから他自治体には埋蔵文化財がほとんどない。全国に誇れるものが表に出てないだけでだいぶある。発掘した中に十六山古墳、管玉（くだたま）、勾玉（まがたま）が多数ある。それらを常設展示としておく場合、若干広くする必要があると思う。
委員長	言いたいことはわかるが、それは展示構想の専門委員会にゆだねるべきであると思う。近畿の国宝級所蔵の博物館でも、閑古鳥が鳴いている。今までの博物館感と違う点を伊藤寿朗は提案した。そもそも大英博物館などは植民地の略奪品からなっていた。人々の生きた歴史を刻んで後世に伝えていくという発想が地域型博物館。多くの方が生涯学習の拠点として足を運び、十分機能し成長する博物館が 10 年後 20 年後に大きくなる。そこを見失ってはならない。かといって貴重な古墳も一つの大切な資料、石橋に込められた石工たちの歴史、磨崖仏の歴史もきちんと表現する、これを展示の部分はどう活かすかが重要。「大野川の自然と歴史」を館のテーマとして設けるくらいは言える。このような形で良いと同意いただければ事務局にお願いしたい。事務局から何かないか。
19 : 50	
事務局（小野）	逆に事務局から質問したいです。後藤綾子委員に質問。サービス網計画の中で、「電子化」「個々のニーズに応える」と言う点について言及されましたが具体的に教えてください。
後藤綾子委員	公民館やネットで（図書を）リクエストをして、次の日とかに届くというサービスなど。
委員長	イメージ図に水色のサークルが連携の部分。ネットでつなげれば。丹念にやるというのはかなりの仕事量。
後藤綾子委員	パソコンの絵とかを入れて未来っぽくしたいなと思っただけ。
委員長	大阪府の例がある。必要とあれば事務局を通じて提供したい。
渡邊円世委員	今の意見に関連して、三重総合高校と話をしたとき、これからの高校生は、タブレットを持って勉強している。業者の問題集を見るためにタブレットを持っているということである。新しいインターネットと対応が必要では。
委員長	Wi-fi を入れれば。未来志向であればどう取り入れるか、それは課題解決にもつながってくる。
工藤委員	諫早図書館に行った時に、ネットでリクエストをしたら専用の車で公民

	館や近くの図書館に届けるというサービスがあった。それをイメージしているのか。
委員長	そのイメージがブルーのライン。これに連絡車をいれればできること。ただ予算を伴うことになる。2年後になるか5年後になるか。
事務局(小野)	吉岡委員に質問です。商工観光課との連携について言及されていましたが具体的にはどういうイメージでしょうか。
吉岡委員	観光、人を呼ぶための企画、観光行政ということをあわせて考える。まちをあげて人を呼び込むということ、これは博物館を活用してあると思う。博物館側も観光を意識し、人が来るということも意識して。それは教育委員会だけではなく、(商工観光課と)連携をして。
委員長	事務局側はもうないか。(なし)
教育長	御礼を申し上げます。長時間にわたり皆さんの思いを出していただきました。大事なことは「成長」、「連携」など、課題もあるなあとも思いましたが、同時に目指すイメージが膨らんできたなあとも思いました。次回3月13日はよろしくお願いします。
事務局(小野)	3月13日が答申の予定でしたが、議論が必要ではないかと思えます。次回も議論の場としてさせていただいて、再度(答申日)を日程調整して「答申」とさせていただいてよろしいでしょうか。
一同	(了承)
事務局(小野)	アンケート結果も3月13日には大方お話しできると思っています。3月13日で議論を終了ということでよろしいでしょうか。委員長お願いします。
委員長	他自治体の状況ではこんな感じでいっている(推移している)。5つの案件に関わっているが、(豊後大野市は)議論できている方である。来週を最終の場としてよいか。
一同	(了承)

記録者：小野